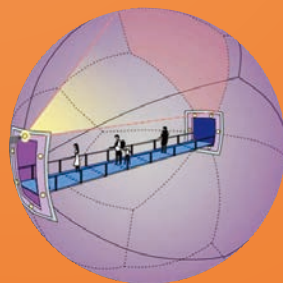




360°の音と映像に 包まれる、 おどろ 驚きの世界へ。

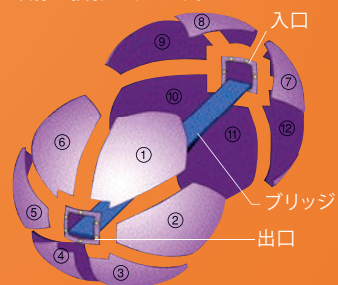
シアター THEATER 360とは?

2005年「愛・地球博」の長久手日本館で人気を博した「地球の部屋」が、国立科学博物館に移設され、「THEATER360(シアター・サン・ロク・マル)」として生まれ変わりました。直径12.8m(実際の地球の約100万分の1の大きさ)のドームの内側すべてがスクリーンになっていて、その中のブリッジに立ち、映像をご覧ください。360°全方位に映像が映し出され、独特の浮遊感などが味わえる世界初のシアターです。



THEATER 360 イメージ図

12枚の五角形で全球に
映像を投影しています。



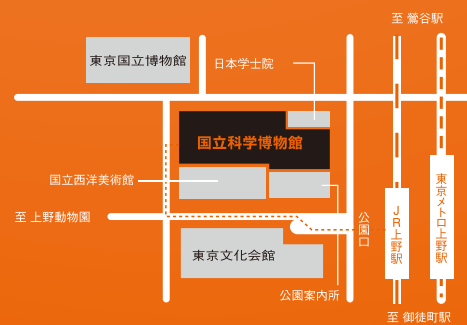
THEATER 360の映像システム

シアター THEATER 360をご鑑賞にあたっての注意事項

- おことわり: 映像の特質上浮遊感やスピード感があり、気分が悪くなるおそれがあります。特に、「小さいお子様」、「体調のすぐれない方」、「妊娠中の方」、「ご高齢の方」、「心臓疾患をお持ちの方」などは充分ご注意ください。また、「飲酒されている方」、「付き添い者のいない未就学児童」、「未就学児童の団体」のご入場はご遠慮願います。
- 禁止事項: シアター内での飲食、上映中の撮影、携帯電話の使用、火気の使用。その他は係員の指示にしたがってください。

国立科学博物館利用案内

- 【開館時間】 9:00-17:00(入館は16:00まで)
金曜日のみ9:00-20:00(入館は19:30まで)
- 【常設展入館料】 一般・大学生 600円(20名以上団体 300円)、高校生以下 無料
- 【閉館日】 毎週月曜日(日・月曜日が祝日の場合は火曜日)
年末年始(12月28日~1月1日)
※特別展等により変更することがあります。
- 【アクセス】 JR「上野駅」公園口から徒歩5分。
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分。
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分。※駐車場はありません。



化石から探る
恐龍の世界

恐竜の世界 -化石から読み解く-

恐竜化石はたいがい骨や歯だけで、映画のように生きた恐竜の世界を科学的に正確に再現するのは不可能です。しかし、骨や歯の形や関節の形から、彼らがどのように動き、暮らしていたか、その一端を想像できることがあります。国立科学博物館の恐竜展示室のトリケラトプスが生息していた白亜紀最末期の北アメリカの世界を想像してみましょう。

SCENE 1 プロローグ
恐竜の化石を
発掘・調査する研究者

SCENE 2 国立科学博物館にある
恐竜の化石展示室

地球には、30億年以上の生物の歴史が「化石」というカタチで残っています。私たちは、この「化石」を通して地球や生物の進化を解明してきました。まだまだ判らないことだらけですが、ほんの少し恐竜の姿やその世界を想像してみましょう。

SCENE 3 立ち上がって歩き出す
トリケラトプスの化石

トリケラトプスは、今から6500万年前、白亜紀の最後に登場した恐竜です。

SCENE 4 トリケラトプスの骨格の中

国立科学博物館に展示されている標本は、骨格がほぼ一体分そろって見つかった世界一良い標本といわれています。

SCENE 5 爬虫類と恐竜の違い

ワニなど普通の爬虫類は、ヒザを体から横向きに突き出して歩きます。恐竜は、ヒザは体の真下にのびるところが違います。

このトリケラトプスは、アメリカ西部のノースダコタ州で発見されました。

SCENE 6 現代から白亜紀へ時間を遡る

現在はバッドランドと呼ばれる荒涼とした大地も、白亜紀の終わり頃は温暖で緑豊かな世界でした。

SCENE 7 植物を食べるトリケラトプス

トリケラトプスは、全長6メートル。クチバシのような口で植物をつみとり、奥歯をハサミのように使って植物を切り刻んで食べたと考えられています。

SCENE 8 被子植物が生い茂る白亜紀

この時代の植物は、原始的な「裸子植物」や「シダ類」が減る一方、花を咲かせる「被子植物」が主流になり、ほぼ現代に近い植生になっていました。トリケラトプスたちは、これらの「被子植物」を食べていたと考えられています。

SCENE 9 水辺にいるエドモントサウルス

SCENE 10 トリケラトプスを襲う
ティラノサウルス

あるトリケラトプスの角やフリルの化石には骨折の痕とティラノサウルスの歯形が残っていました。さらに、その折れ口には骨が再生した痕がありました。

SCENE 11 トリケラトプスの角を折る
ティラノサウルス

このトリケラトプスは、ティラノサウルスの攻撃をかわして生き延びることが出来たようです。それはティラノサウルスが死骸を漁るだけでなく、生きたトリケラトプスを襲うことがあった証拠です。

SCENE 12 巨大隕石の落下によって
起きた恐竜絶滅

今から6500万年前、生物の大部分が絶滅してしまう事件が起きました。巨大隕石の衝突がその原因といわれていますが、まだ多くの謎があります。

SCENE 13 恐竜の進化の系統樹

1億5000万年にわたる進化の中で、枝分かれを繰り返し、大いに繁栄した恐竜もその大量絶滅の犠牲者でした。

SCENE 14 恐竜から進化した鳥

しかし恐竜は鳥として今も進化を続けています。これからどんな進化をするのでしょうか。

SCENE 15 国立科学博物館で眠る
トリケラトプスの化石

現在、学名がつけられている恐竜は、鳥をのぞいて約1000種類。まだ数十万種の恐竜化石が、地面の下で私たちとの出会いを待っているはずですよ。